

②3 るりゆる (鳥取市)

音楽のリズムやフレーズに合わせて楽器を鳴らしたり、体を動かしたりして発達支援や機能回復を促す、音楽療法の「ミュージック

ている。

子育て中の人たちが集まって相談し合える場所をつくりたいと2006年から子育て支援活動を始めた。鳥取県東部を中心に地域の子育て支援センターや人権福祉センター、公民館などで週に3、4回の親子教室やワークショップを開催している。



育児中の人に寄り添い活動

音楽に合わせて体を動かして楽しむ「ミュージック・ケア」を体験する親子



・ケア」や赤ちゃんにマッサージ、エクササイズをする「ベビービクス」などのワークショップには、23年までに約700組の親子をはじめ、子育て支援活動を核に地域の高齢者や障害者など世代や障害の有無にかかわらず多くの地域の住民が参加している。

雨で防災用品を備蓄していなかったことや避難するかわった経験が子育て世代の防災を考えるきっかけとなった」と話し、現在は地域防災に役立つセミナーも定期的に開催するなど、活動の幅をさらに広げている。

2月9日には、地域を元気にするための県内の優れた地域づくり活動を表彰する「令和6年度鳥取県ミラ・クル・とっぴ運動・SDGs活動表彰」一般部門の協賛企業賞(大塚製薬賞)を受賞した。

浅見さんは「鳥取には子育て支援を積極的に行っている団体が多くある。さまざまな団体と協力しながら今後も子育て中の方に寄り添う活動をしていきたい」と抱負を語った。